

## 令和5年度 学校評価 自己評価書(1学期)

## 1 学校の重点努力目標

- 自ら考え主体的に対話的で深い学びの学習を通して、一人一人の子どもに確かな学力を付ける。
- 読書活動等を通して、生命を尊重し、人を思いやる心と豊かな感性を育む。
- 体力、気力の向上に努め、たくましい体と頑張りぬく心を育てる。
- 日々の学習における指導法の改善を図り、個々のよさを伸ばす指導に努める。
- 地域に根ざした活動を通して、規範意識や社会性、郷土を愛する心情を育てる。

## 2 重点項目評価と課題・改善策

	評価項目		評価	評価結果と改善方策
学習指導	1	「人前で自分を出せる子どもの育成」を意識した指導ができているか。(一学校一改革)	2.55	運動会等の学校行事と関連させたり、意識的な称賛を与えたりして活動への意欲を高める。
	2	タブレット等の ICT 機器の効果的に活用した指導ができているか。	2.74	タブレットをはじめとする ICT 機器の効果的な活用に関する教師の手応えが、一律ではない。
	3	めあてとまとめの整合性や振り返りの充実を意識した指導ができているか。	2.95	振り返りの必要性は研修を通して理解している。今後は授業実践を重ねていく。
生徒指導	1	児童理解や家庭との連携を重視し、トラブル等の予防や早期発見、解決に努めているか。	3.20	児童への聞き取りや事後指導など、学年間・教師間で情報共有した。また、関係機関と連携した。
	2	あいさつ、正しい廊下歩行、履物並べができるように指導しているか。	2.90	日常的な行動について、具体例を交えたり称賛したりしながら指導を継続する必要がある。
	3	多面的・多角的な見方・考え方から、相手を思いやる態度を育てているか。	2.79	友だちの物品に対するトラブルが重なることがあった。相手の立場に立った指導が必要。
保健指導	1	校内でのけがや事故防止、安全点検に気を配っているか。	3.11	点検箇所を見直し、昨年度よりも多くの場所を分担して点検した。
	2	継続的な運動を奨励したり、食に対する関心を高めたりする手立てをとっているか。	2.85	長縄跳びへの取組が見られた。今後も学年の実態に応じた熱中症への対策等が必要となる。
	3	歯みがきや手洗い・うがい・換気への指導を徹底しているか。	2.85	児童への意識化を図った。給食時のマスク着用など、再度指導を徹底する。
働き方改革	業務改善(「1Action, 1try」等)を意識した勤務ができているか。		2.50	課題として意識しているが、具体的な改善策が浮かばず、多忙感を感じる職員が多い。

4・・・大変よい、とても望ましい

3・・・改善の余地はあるが、ほぼよい

2・・・あと一步の工夫や改善が必要である

1・・・相当な工夫や改善、努力が必要である

## 3 2学期に向けての取組

職員研修との関連から交換授業や授業参観を実施し、複数の教師の視点から、より効果的な指導の在り方を探る。また、生徒指導事案については共通理解し、チームとして対応することができている。今後も、望ましい学校生活の在り方や友達とのトラブルの解決など、個に応じた声掛けや指導を継続する必要がある。

業務改善について、職員からの意見も出されるようになってきた。しかし、漠然とした多忙感を抱いている職員が多いと考えられるため、その原因を夏季休業中に精査し、小さな改善の積み重ねから始めていくことが必要と考える。